

「ウサビの一日救急隊長 (Vo.2)」

「ウサビの一日救急隊長 (Vo.2)」

ウサビの一日救急隊長 (Vo.1) の続きです > >

休んでいいと言われウサビは意気揚々と消防署内へ



荒木消防長とお茶菓子を酌み交わし談笑するウサビ

荒木消防長 「以前は消防の日といえばお祭りだったんだよ。」

ウサビ 「なんだか楽しそう！！子ども達もいっぱいいる！」



山形新聞の柳澤記者も取材に来ていた。

写真は、「オバ」の張りぼて制作を記録したもの。

そこへ…

消防隊員「おーい！ウサヒ準備できたぞ〜」

ウサヒ呼ばれました。

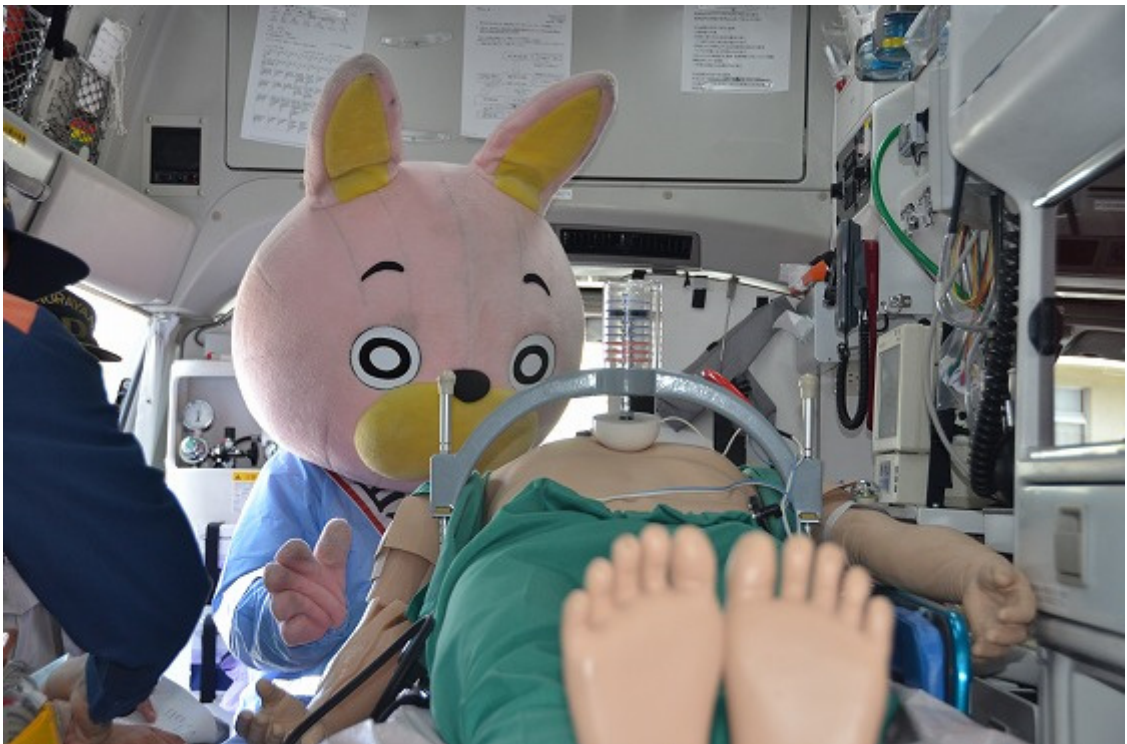


救急車内

ウサビ「ひ、人が！だ、大丈夫か？？今、助けてやる！！」



救急隊長の名にかけてウサビ出動！！頭を押さえつつ救急車の中へ！！



ウサビ 「こ、これは…？」

消防隊員 「これは、自動で心臓マッサージを行う機械だよ。」

ウサビ 「なるほど、病院に着くまでこの機械で心臓マッサージを行うのか！」



救急車の中には様々な設備があるんですね。

消防隊員 「ウサビー！次はこっちへおいで！」



チャンピオンベルト??

消防隊員 「これはネックカラーといって事故で頭などを打った時に首を固定して、

頸部の損傷を防ぐためのモノなんだ。つけてみるかい？」



つけてみた。

ウサビ 「く、首が全く動かない！」



だら-ん

弟子 「ひいい～頭と首が逆方向に・・・(首かしげても可愛くない)」

ウサヒ 「でも首はガッチリ固定だぜ。人間(弟子)も試したらどうだ？」



右が弟子

弟子 「く、首が固定されて上手くしゃべれない…」

ウサビ 「はっ…お前首がないぞ、やーい、やーい」

弟子 「師匠、真面目にやって下さい！」

すると

消防隊員 「ウサヒ、消防隊長らしいことやってみようか！」



というわけでお次は署内へ

消防隊員 「朝日町で 119 番通報があると、まず寒河江の消防本部に連絡が行き

そこから西村山の各分署に連絡が来るんだよ。」



座ってみる・・・

ウサビ 「ふむ・・・(偉くなった気分)」



ウサビ 「む…電話だ…」

「救急指令、救急指令、災害地点朝日分署付近、交通事故、指令終わり」

ウサビ 「た、大変だ！交通事故だ！（アワアワ）」



災害地点の地図が寒河江の本部からFaxで送られて来るので確認

予告指令が鳴ると隊員達は集まり、出動に備えます。



災害地点は朝日分署のすぐ裏

そして数分後、本指令が・・・

ウサヒ「出動！！(これがやりたくて隊長引きうけたんだ。エヘヘ・・・)」



隊員さん達は、ウサビを置き去りにし現場へ急行 さすが一刻を争うレスキュー



後ろで笑われるウサヒ

観客「プ…クスクス」

ウサヒ「あ…(みんなに置いてかれた…)」



救急隊員さん達はあっという間に救急車に乗り込み出発！！



隊長として精一杯かっこつけて救急車を見送るウサビ

ウサビ「ハッハッハッ、皆、頑張ってくれたまえ。」

弟子「師匠…今日、特に何の役にも立ってませんね…」

仕方ないので、徒歩で現場に急行すると、既に隊員さん達が

救急車からタンカをおろしていました。



通報者 「急いでこっち来てくれ～！車にはねられたんだ！」

けが人 「ウ…」



隊員さん達はそれぞれ分かれて状況把握へ



車からガソリン等漏れていないか、ぶつかった所の凹み具合はどうか確認



通報者に、事故当時の状況を確認、事故現場周辺の状況も確認

消防隊員「警察には連絡しましたか？」

通報者「連絡した！」

交通事故の際には、119番だけでなく110番も必要だそうです。

警察には事故周辺道路の車両を止めてもらいます。



ウサビ 「救急隊員さん達、すぐには救急活動に入らない…」



そこへ救急救命士の資格を持つ加藤 茂久さんが登場！！

加藤さん「救急隊員は駆けつけてすぐにケガ人に触れないんだよ。」

ウサヒ「でも、加藤さん、事は一刻を争う交通事故ですよ！！」

加藤さん「現場に危険物があるかもしれない、ガソリンが引火するかもしれない

ケガ人を助けるための救急隊員がケガをするわけにはいかないんだ。

救急隊の安全確保が救急活動の大前提なんだよ」

ウサヒ「だから、最初の状況確認が大切なんですわね」

いつもゆるーいウサヒも加藤さんの真剣な説明に思わず敬語に。



いよいよ救急隊員さん達がケガ人の救助に入ります。

ウサビ 「た、隊長なのに、見守るしかできない…」

加藤さん 「ここからはプロの仕事だよ…」

ケガの場所を確認し、応急処置を行う隊員さん達



ウサヒ 「足から血が沢山出てる・・・痛そう・・・」

加藤さん 「ウサヒ、実は血が出ている足より、出ていない所の方が危ないんだよ」

ウサヒ 「え！！(どうして??)」

加藤さん 「今回のケースはお腹から内出血している可能性があってお腹の方が危ないんだ。」

「一刻も早く対応しなければならぬからドクターヘリも呼んでいる設定なんだよ」

ウサヒ 「(あの、ドラマとかでよく見る)ドクターヘリ！！」

消防署内に残っている救急隊員さん達はドクターヘリの準備をしています。



良く見るアレ



ケガ人をタンカに移動

救急隊員は「1・2・3」の掛け声で3人同時にケガ人を持ち上げる

ウサビ 「掛け声をかけるのは救急隊長の役目かな。(オレの出番!!)」

加藤さん 「ウサビ、掛け声をかけるのは隊長ではなく頭を持っている人って決まってるんだ…」

ウサビ 「…(出る幕なしか…)」



脊椎を動かさないように少しずつ人が持ち上げてタンカにのせるんだよ(加藤さん談)

このタンカはこのまま病院のCTに入れるそうです。



タンカに載せた人が救急車へ



こらこらウサヒ、さぼっちゃダメですよ(弟子談)



そして救急車へ



救急車にけが人を乗せるとすかさずドクターヘリに状況を連絡

加藤さん「けが人の状況は最初の15秒で、脈拍・呼吸などでヤバいかどうか判断する」

「危ないと判断したらすぐ、ドクターヘリを呼ぶんだよ」

ウサヒ「15秒…だ…と…(驚愕)」



後ろでは迅速な救急活動が行われているのにこの二人…

救急隊員 「ドクターヘリ、出動しました！！創遊館に向かっています。」

ウサビ 「ドクターヘリって何分ぐらいで着くのかな？」

加藤さん 「ドクターヘリは出発してから5～6分で行くよ」

ウサビ 「5、6分…だ…と…(驚愕)」

そのほか、ヘリが到着するまで心電図や血圧を調べ、アレルギーの有無・持病の有無を確認するそうです。(名前・住所・年齢等もちろん確認します)

町立病院では設備が足りない可能性があるので今回はドクターヘリで

山形県立中央病院に搬送する設定でした。



一連の救急訓練はここで終わり。最後はみんなで記念写真。

ウサビ 「いやぁ、みんな迅速な対応素晴らしかったよ！」

救急隊員 「…(なにもしてないのに態度だけでかいな…)」

ウサビ 「お疲れ様でした！！」

救急隊員 「何言ってるんだい？ウサビ、さぁ、宮宿小学校に行くよ！」

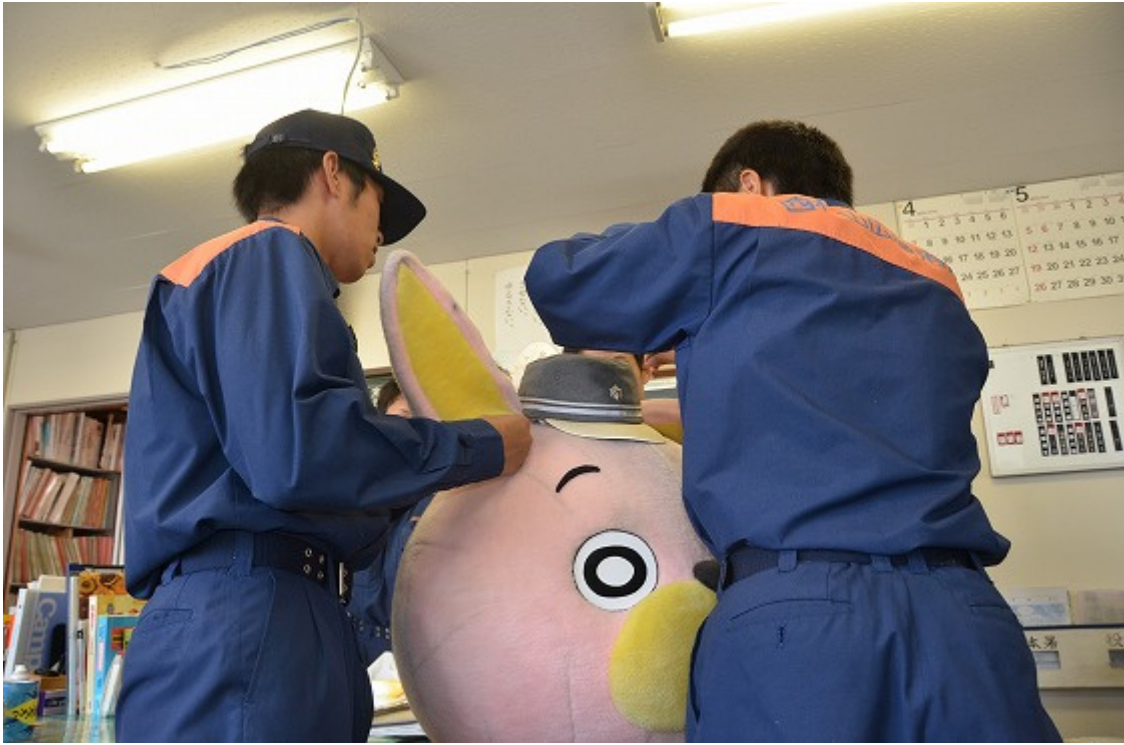
なんと、ウサビ次は救急活動のPR活動のため、宮宿小学校に行くことに。

救急隊長らしい所は見せられるのか？？

心臓マッサージはきちんとできるのか？？

次回ウサビの一日救急隊長 (Vo.3) へ続く。。

次回予告



ウサヒ、4人がかりで帽子をかぶせられ・・・



宮宿小へ



宮宿小ではいつものウサビに戻って楽しく・・・



…と思いきや、ウサビ死す??

ウサビのあさひまち探検ははじまったばかりなのに、ここで終わってしまうのか??

次回…こうご期待。

今後のウサビの出演予定

14日： 上山、新キャラクター誕生記念式典 10時00分 ~ (上山市)

14日： 芋煮フェスティバル 12時30分 ~ (中山町)

そして、9月16日は、以前大沼で見かけた巨大生物の真相を探るため

このイベントに参加してきます

>>「朝日町エコミュージアムふるさとミニ紀行～不思議めぐり～」

生身の僕・中の人参加します。

定員にまだ空きがあるようなので、一緒に真実の目撃者になってくれる人も募集しています。

連休も、楽しいイベント盛りだくさん。頑張ります！